



神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2
045-263-2567

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

神奈川県立青少年センター

Kanagawa Prefectural Youth Center

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1
045-263-4400

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ch3/index.html>

神奈川県立図書館

Kanagawa Prefectural Library

〒220-8585 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2
045-263-5900 (代表)

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

横浜市民ギャラリー

Yokohama Civic Art Gallery

〒220-0031 神奈川県横浜市西区宮崎町 26-1
045-315-2828

<https://ycag.yafjp.org/>

横浜能楽堂 (2026年7月リニューアルオープン予定)

Yokohama Noh Theater

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2

OTABISHO 横浜能楽堂 (2026年3月まで)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 2-2-1 ランドマークプラザ 5F

045-263-3055

<https://yokohama-nohgakudou.org/>

横浜・紅葉ヶ丘へのアクセス

《電車》

- JR 京浜東北・根岸線桜木町駅 (南改札または北改札西口)・横浜駅地下鉄桜木町駅 (南1番出口) 徒歩 10分
- 京浜急行日ノ出町駅 徒歩 13分
- みなとみらい線 (東急東横線直通) みなとみらい駅 徒歩 20分

《バス》

- 横浜市営バス・京浜急行バス・神奈中バス
【横浜駅東口バスターミナルから乗車】
- ・横浜市営バス 8、26、105、106 系統 / 京浜急行バス 110 系統 / 神奈中バス 横 43、44、港 61 系統「紅葉坂」下車徒歩 7分
- ・横浜市営バス 103 系統「戸部 1 丁目」下車徒歩 5分

《駐車場》

神奈川県立音楽堂・青少年センター・図書館および横浜市民ギャラリーに附属 (一般有料 / 障がい者無料規程あり) ご利用についての詳細は各館にお問合せまたは HP をご覧下さい。横浜能楽堂には駐車場はございません。

- ◆ 横浜市民ギャラリーではJR桜木町駅から無料送迎車を運行 / その他の館でも催しに合わせて無料シャトルバスを運行する場合があります。詳しくは各館にお問合せいただくか、HP をご覧下さい。

ここに掲載されている情報は 2025年6月のものです。

編集・発行：紅葉ヶ丘 5 館連携会議 禁無断転載・複製



みなとみらい地区を一望する横浜・紅葉ヶ丘には5館の公立文化施設があります。日本の戦後モダニズム建築を代表する建築家、前川國男の傑作建築群として知られる神奈川県立図書館 (前川國男館)、神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センターの3館、約150年の歴史ある能舞台を持ち、掃部山の緑に抱かれた横浜能楽堂、横浜市民の芸術拠点として 1964年に開館し、2014年に現在の場所に移転した横浜市民ギャラリー。この5館が連携して、紅葉ヶ丘エリアの魅力を発信していく活動が「紅葉ヶ丘まいらん」です。「まいらん」とは、神奈川県立音楽堂 (Music Hall)、神奈川県立青少年センター (Youth center)、神奈川県立図書館 (Library)、横浜市民ギャラリー (Art Gallery)、横浜能楽堂 (Noh Theater) の頭文字「MYLAN」をひらがなで表したものです。

神奈川県立音楽堂

Kanagawa Prefectural Music Hall



1954年、県立図書館と一体の建物として開館した、日本初の本格的な公立音楽ホール。初期の前川建築の特徴を表す外光あふれるホワイエが印象的。壁や天井を覆う木の生みだす音響は「東洋一の響き」と讃えられ、今も多くの音楽家から「木のホール」の愛称で親しまれています。2021年8月、神奈川県重要文化財 (建造物) に指定、2024年には開館70周年を迎えました。

神奈川県立青少年センター

Kanagawa Prefectural Youth Center



青少年センター (1962年開館) は紅葉坂ホールやスタジオ HIKARI などの施設を有しています。青少年や県民の方を対象に、「体験学習を推進する支援・指導者の育成」、「ひきこもり、不登校や非行等への対応」、「科学体験活動の促進支援」、「舞台芸術活動への支援」の4つの柱で様々な事業に取り組んでいます。

神奈川県立図書館 (本館)

Kanagawa Prefectural Library



本館は大きなガラススクリーン越しに集う人々の姿が見え、透明感と開放感あふれる建物です。専門的資料や郷土資料、視聴覚資料等の収集・保存や、レファレンスサービスに力を入れ、県内公共図書館をつなぐ拠点であるとともに、多様なスタイルで読書を体験する場と、学びを深める仕掛けにより「価値を創造する図書館」としての役割を果たします。

横浜市民ギャラリー

Yokohama Civic Art Gallery



横浜市民ギャラリーは1964年の開館以来、市民の皆さまに親しまれ、多くの美術団体が発表や制作の場として利用しています。横浜・神奈川ゆかりの作家を中心に約1,300点の作品を収蔵し、自主企画として年3回の展覧会と、子どもや大人を対象とする講座をおこなっています。2014年10月に現在の地に移転、2024年4月に開館60周年を迎えました。

横浜能楽堂

Yokohama Noh Theater

※大規模改修工事のため
2026年6月(予定)まで休館中



ユネスコの無形文化遺産である能楽。横浜能楽堂の本舞台は明治8 (1875) 年に旧加賀藩主・前田齊泰邸に建てられ、大正8 (1919) 年に東京染井 (現在の駒込) 松平頼寿邸に移築され「染井能舞台」と呼ばれ昭和40 (1965) 年の解体まで親しまれました。本舞台は保存されていた部材を復原、活用したもので、横浜市の文化財に指定されています。※2026年3月まで、ランドマークプラザ5Fにて能・狂言を気軽に楽しめるスポット「OTABISHO横浜能楽堂」を開設しています。



横浜港を見下ろす「紅葉ヶ丘」と

そこに建つ5つの文化施設、

通称「まいらん」。

周辺には歩いてまわれる

フォトスポット、隠れた歴史や物語、

アート、文学、演劇、音楽など

文化を感じられるスポットがいっぱい!

このマップを使って、あなたもぜひ

「まいらんさんぽ」してみませんか?

SNSであなたの
#まいらんさんぽ
投稿おまちしています!



紅葉ヶ丘から歩ける アートスポット

紅葉ヶ丘界隈にはアートと出会えるスポットがたくさんあります。
横浜市民ギャラリー / 年間を通して展覧会を無料で楽しむことができる美術施設。屋外にも彫刻が展示されています。
横浜美術館 / みなとみらい駅から徒歩数分の国際的美術館。Art Center NEW / 新高島駅構内に位置。黄金町エリアマネジメントセンター / 京急高架下で黄金町パザール等を展開。
(※展覧会スケジュールをご確認の上、ご来館ください)

紅葉ヶ丘から歩ける 文学スポット

開港以来、多くの知識階層が暮らしていた紅葉ヶ丘やその近隣地域は、多くの作家・文学と関わりが深い場所です。
有島武郎『或る女』に登場する紅葉坂や、花咲町生まれのアラギ派歌人、飯岡幸吉の歌碑があります。他にも、横浜の地で過ごし多くの女流俳人を育てた俳人、中村汀女の句碑や日ノ出町生まれの大衆作家、長谷川伸生誕の地石碑や長谷川伸生誕100年を記念した文学碑があります。
 横浜を多く描いた作家大佛次郎は、英町に生まれ、幼少期を過ごしました。

紅葉ヶ丘から歩ける舞台芸術スポット

青少年センター / 演劇上演を想定した最初の「県立劇場」として設計。歌舞伎上演ができる廻り舞台などの舞台機構を備えた紅葉坂ホール、演劇・ダンス等専門スペースのスタジオHIKARI、演劇関係書籍や、チラシ、パンフ等の演劇公演資料を収蔵し誰でも閲覧できる演劇資料室があります。急な坂スタジオ / 舞台芸術を中心とした幅広い芸術活動の創造拠点、地域とアーティストの交流拠点。横浜にぎわい座 / 落語、漫才、大道芸など、大衆芸能の専門館。横浜能楽堂 / 能楽を中心とした日本の古典芸能専門館。

野毛エリア

たくさんの飲食店にぎわう野毛。1947年に洋画専門のマッカーサー劇場と美空ひばりがデビューした横浜国際劇場が開場するなど、娯楽の場として古くから親しまれてきました。1986年に初めて開催された「野毛大道芸」やジャズスポットも多数あり、現在も活気あふれるスポットとして注目されています。

音楽通り

桜木町駅から野毛ちかみちを抜け地上に出て右手の紅葉坂に抜ける音楽通り。音楽堂開館以来、公演の感動を抱いて駅までそぞろ歩く人たちの歌声が響いていたことから、いつしかその名がつけました。

伊勢山皇大神宮と成田山

伊勢山皇大神宮 / 1870年の創建以来、横浜総鎮守として崇敬を集めてきました。初宮詣や七五三詣などでにぎわいます。
成田山横浜別院延命院 / 野毛山不動尊と呼ばれ、篤い信仰を集めています。こちらも1870年開創。

紅葉ヶ丘近くのフオトスポット

紅葉ヶ丘エリアには素敵なフオトスポットがあります。みなとみらいを見守る井伊直弼像を始め、掃部山公園の桜や紅葉坂の紅葉など四季折々の風景、富士山がきれいに見える丘です。お散歩のついでに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

横浜・紅葉ヶ丘まいらん

YOKOHAMA MOMIJIGAOKA MYLAN SANPO MAP

さんぽマップ



音楽を感じるスポット

滝廉太郎 幼少の地 / 「荒城の月」などで知られる大作曲家。父が神奈川県のお官だったため幼少の頃一家で横浜の官舎に住みました。なんと現在の音楽堂入りだそう。美空ひばり像 / 横浜の生んだ国民的スターが8歳で初舞台を踏んだのは野毛の横浜国際劇場。良く通ったというお寿司屋さんの前に銅像が。野毛界隈を舞台にした主演映画「悲しき口笛」のいでたちで微笑んでいます。
オルガン広場 / 日ノ出町駅の交差点脇にあり、国内第1号のオルガンを製造した西川風琴製作所の工場が付近にあったことを記念しています。

歴史を感じるスポット

井伊直弼像 / 没後50年目に建立された像。現在の像は二代目で、1954年に建てられたもの。台座と隣接の水泉は横浜市の文化財。神奈川奉行所跡 / 貿易の管理や横浜の治安維持などを行うため、開港直後の1859年6月2日に開設。御所五郎丸墓 / 能「夜討曾我」に登場する、曾我兄弟の仇討ち事件に関わった武士の墓といわれています。佐久間象山顕彰碑 / 幕末の兵学・朱子学者・思想家。松代藩士。1954年開港100年記念として建立されました。

紅葉ヶ丘エリア

1928年、紅葉坂の上の丘陵地として名付けられ、音楽堂、青少年センター、図書館、能楽堂がある紅葉ヶ丘エリアは「まいらん」の中心地。至るところにアートや石碑があり、文化芸術の伝統や歴史を感じることができます。

パブリックアート

青少年センターのホワイエや敷地内におかれた彫刻群。建物内の作品も開館時間であれば、どなたでもご覧いただけます。写真は流政之「潮 Tide」。

金星太陽面経過観測記念碑

駐車場入口横にあります。1874年の観測成功100周年を記念して建てられました。

大楠(クスノキ)

駐車場の広場にある樹齢約170年と推定される大楠(クスノキ)は、紅葉ヶ丘のシンボルとも言える存在。音楽堂のロゴマークにもなっています。

横浜 紅葉ヶ丘 まいらん 年表

